



陳情 2 第 19 号



気候非常事態宣言を発出する様、市当局に対して働きかけを求める

陳情

【陳情項目】

気候非常事態宣言を発出する様に市当局に対して働きかけてください。

【陳情理由】

2019年9月の台風15号、10月の台風19号は記録的な暴風・大雨をもたらし、本市においても甚大な被害がありました。日本各地では数十年に一度といわれる台風や豪雨が毎年のように発生し、深刻な被害が出ている状況です。これらの気象災害は温室効果ガスによる地球温暖化の影響と言われており、その影響は我が国だけでなく世界においても、熱波や森林火災、ハリケーンや洪水など未曾有の被害をもたらしています。

そのような状況の中、多くの自治体が気候非常事態を宣言し、風水害対策の強化、気候変動問題の普及啓発、脱炭素社会の実現に向けた取組みなどを進めていると聞いています。また、本年2月には神奈川県において、「かながわ気候非常事態宣言」が出され、先日は衆議院でも気候非常事態に関する決議がされたと報道されました。

これまで、藤沢市では脱炭素に向けた取組みや、気候変動・地球温暖化に関わる普及啓発、風水害対策など実施して頂いていると承知しておりますが、気候が非常事態であるという危機感を市民・関係団体と共有し、これまでの取組みを更に充実させるため、気候非常事態宣言の発出に向けて、市当局に働きかけてくださいます様、お願い致します。

令和 2 年 11 月 20 日

住所 藤沢市鵜沼梅が岡4-8-8

陳情者

梶原 真弓



藤沢市議会議長

加藤 一 様